議事録

さいたま市立土合中学校　第１回　学校運営協議会

１　日　時　令和８年５月２８日（木）１０時００分～１１時３０分

２　場　所　土合中学校　第一会議室

３　参加者　学校運営協議会委員　９名

《出席》

田辺　雄一　様　（青少年育成中島地区会会長）
向井　義博　様　（青少年育成土合地区会会長・西堀連合自治会会長・西堀門前自治会会長）
島﨑　富夫　様　（道場第三自治会長　さいたま浦和地区保護司会　保護司）
日比　圭都　様　（土合小学校　校長）
松田　奈津子　様（本校ＰＴＡ会長）
金澤　　薫　様　（本校ＰＴＡ副会長）
清水　一司　　（本校校長）
舩水　光加　　（本校教頭）
中内　則之　　（本校学校地域連携コーディネーター）

《欠席》

田澤　　崇　様　（青少年育成栄和地区会会長）
岩佐　章文　　（本校教頭）

４　内容

※委嘱状・任命書交付

（１）校長あいさつ　　さいたま市立土合中学校　清水　一司

（２）学校運営協議会委員　自己紹介

（３）委員長・副委員長選出

委員長　田辺　雄一　様　　副委員長　向井　義博　様

（４）協議

⑴ 令和８年度学校運営基本方針について

島﨑委員

・一人一主任について、20 代の若手の教員も同様なのか。

向井委員

・分掌について、昨年度同様に、業務量の偏りがないようにご配慮願いたい。

校長

・本年度は、教員一人ひとりへの意識づけを含め、改めて提示をした。教員自身の分掌を意識しながら取り組むことで、業務量の偏りが軽減されるよう配慮していく。

向井委員

・昨年度から課題となっている教職員の年齢の偏りについては、学校運営協議会の意見として要望するのはいかがか。

田辺委員長

・この意見について、学校運営協議会の意見書として提出することにする。
・業務量の平準化もさることながら、風通しの良い職員室を引き続き目指していただきたい。
・これからは、異国の子どもたちが同じ環境で学ぶことが増えていくことが予想されるため、人権教育については、日頃からの小中連携が必須となると考える。

向井委員

・目指す教師像にある「３つほめて、一つ指導」の実践を、ぜひ先生方への実践をしていただきたい。

松田委員

・土合のような大規模校においては、衛生管理者の設置が義務付けられているということだが、生徒の安全面の視点からは、看護師の設置も必要なのではないかと感じている。

委員長

・新たな視点であると感じる。さいたま市ＰＴＡ連合会で御意見することを提案する。

日比委員

・小学校においても不登校児童の支援に課題が多く、保護者と足並みをそろえながら支援を行っている。

田辺委員長

・学びの多様化といわれている、時代に応じた支援が必要と考える。
・学校運営方針については、委員一同承認とする。

(2) 部活動地域展開について

金澤委員

・専門性の高い方が指導に入るのはよいと考えるが、浸透するまでには時間がかかると感じる。
・学校課業日と週休日等で、教員の立場が変わることについては、保護者の理解が進んでいないと感じる。

島﨑委員

・異動した教員が、外部指導者となり、元の学校で指導することが可能になるのか。

田辺委員長

・委員会からのスケジュール表では、明確な時期が示されていない。また、議論が運動部活動が中心となるが、吹奏楽部をはじめとする文化部についても考える必要がある。楽器等の管理や指導者への謝礼等、現在でも保護者が負担していることも多くある。今後も多くの課題があげられると考えられる。

校長

・土合中学校では、モデル校としての役割を果たすために、地域の方々に説明会等も実施することも考えている。

向井委員

・自治会への働きかけについては、協力することはできる。

中内委員

・モデル校としての成果と課題については、「まちクラブ」を実現するために必要な要素を提供するという視点ではいかがか。

委員長

・部活動によっては、保護者が指導を行う場面もあると聞いている。保護者は地域住民であるため、その視点からも協力を得られるかもしれない。

・以前のような地区懇談会のような場があれば、地域への働きかけはできるかもしれない。

校長

・いただいたご意見を参考に、取り組んでいきたい。

⑶ 令和８年度学校自己評価システムシートについて

田辺委員長

・ご意見がなければ、承認とする。

（６） 閉会

（７） 諸連絡

・第２回の開催日について